



# おさかなかわらばん瓦版

No. 80

2017. 11

シリーズ：エビ・カニ だい かい 第4回

## シャコ



ふーちゃんのトピックス

「さかなもりと森かんさつえんの観察園」の  
オリジナルキャラクターがけってい決定！

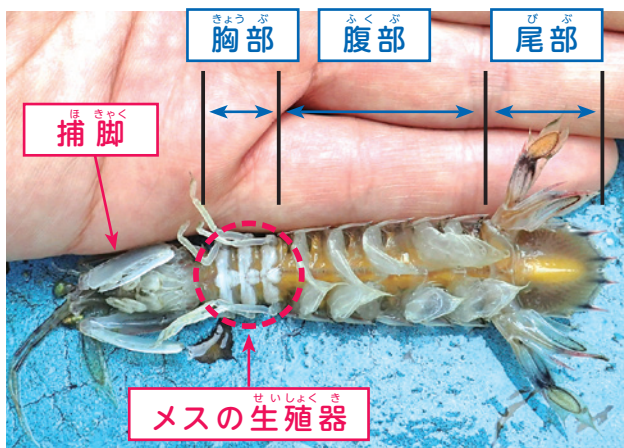
# シャコ

～ 不思議な生態、伝えたい味わい～



シャコは最大で全長 18センチほどになる甲殻類の一種です。北海道以南の日本沿岸各地、黄海、東シナ海に分布し、内湾の水深 30メートルより浅い、砂や泥が広がる海底に生息しています。

一見エビに似ていますが、よく見ると、とても独特な姿をしています。とくに目立つ



カメラ 1 シャコのメス

は、腕として使う「捕脚」と呼ばれる脚です（カメラ 1）。エビやカニのはさみとは違い、シャコの捕脚は鎌のような形になっています。また、胸から腹にかけての関節がとても柔らかいのも特徴で、体を「つ」の字に曲げることができます。シャコは海底に掘った U 字型の巣穴の中で生活しますが、柔軟な体のおかげで狭い空間でも簡単に方向転換できるのです（カメラ 2）。

メスのシャコは、腹側から見ると胸部に白い生殖器が付いているので、簡単に見分けられます（カメラ 1）。産卵期は、地域にもよりますが、だいたい春から夏の終わりごろにかけてです。巣穴の中で産まれた卵のかたまりは、ふ化するまでの約 2 週間、メスによ



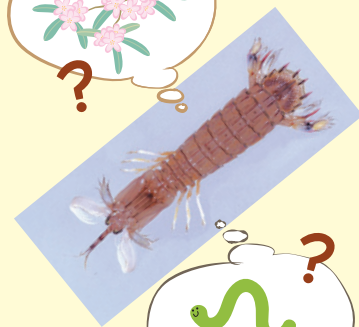
あんじいの  
ワンポイント  
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

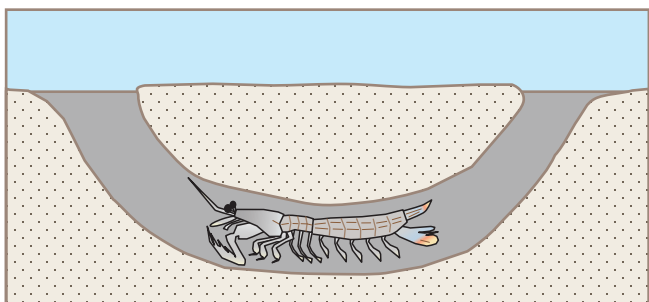
## 名前の由来は花？ それとも虫？


シャコという名前は、ゆでたときの色が石楠花の花に似ていることから「シャク」と呼ばれたのが由来と言われている。ただし、陸上にあげたときに体を折り曲げて移動する動きが、しゃくとり虫に似ていることが「シャク」の由来という説もあるようじゃ。ちなみに、大きな鎌を持つ姿から英名では「Mantis Shrimp (マンティス・シュリンプ)」、つまりカマキリエビとも呼ばれておるぞ。

しゃくなげ  
石楠花



しゃくとり虫



 シャコの巣穴

て大事に守られます。ふ化した幼生は、プランクトンとして海を漂いながら脱皮を繰り返す、大人のシャコの姿になると、海底で生活するようになります。

シャコは昔から寿司ネタや天ぷらのタネとして人気で、エビよりもあっさりしているが



 2 ゆでたてのシャコ

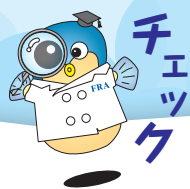
ら、上品な甘みのある味わいが特徴です。春ごろの卵巣が膨らんだメスは、風味にコクが加わり、一味違ったおいしさです。シャコは鮮度が落ちやすいため水揚げ後すぐにゆでたものが流通しますが、産地に行けば獲れたて・ゆでたてのおいしさを味わうことができます(📷 2)。

近年、日本各地の内湾でシャコの獲れる量が減ってきています。その原因として、夏から秋にかけて海底近くで起こる、海水中の酸素が極端に少なくなる現象の影響が疑われています。この時期はシャコにとっては産卵のシーズンでもありますが、酸素が少ない海水中ではシャコなどの底生生物は生きていくのが難しいのです。

おいしいシャコをこれからも食べ続けていけるように、研究を続けています。



さわやま しゅうへい  
(澤山 周平)



チェック

## 意外と武闘派、そしてきれい好き？

「シャコは海底の掃除屋」というのは俗説で、実はどう猛なハンターです。巣穴の前をエビなどが通りかかると、すばやく捕脚でキャッチします。鎌の内側にあるするどいトゲのため、一度捕まったら逃れられません。硬い二枚貝には、鎌の付け根を使って「シャコパンチ」！叩き割ってしまいます。甲殻類きっての武闘派と呼べるかもしれません。

捕まえた獲物は巣穴に持ち込んで食べますが、食べかすはきちんと巣穴の外に出します。意外ときれい好きでもあるんですね。



シャコさんには  
節かれないよう  
気をつけよう！



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

ともお友だちが増えてうれしいな!



# 「さかなと森の観察園」のオリジナルキャラクターが決定!

女子美術大学の学生にデザインしていただいた候補作8点について、8月23日に開かれた日光庁舎一般公開の来場者と役員で投票を行いました。投票に参加してくださった皆さま、ありがとうございました。その結果「イワじい、ヒメちゃん、ヤマメちゃん」に決まりました。

## ヒメちゃん

キラキラオーラをまとったヒメマス  
の女の子。冠は名前負けしたくない!という気持ちからつけている。大きい目がチャームポイント。



## ヤマメちゃん

いつもヒメちゃんの一步後ろにいる、ちょっと照れ屋なヤマメの女の子。ヒメちゃんとイワじいと一緒にいると笑顔になる。



## イワじい

川のことは何でも知っているお爺さんイワナ。きれい好きで、ヒメちゃんとヤマメちゃんを見守る存在。こう見えても大食い。片眼鏡が川に流されることが一番怖い。



## 「さかなと森の観察園」

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3  
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所 日光庁舎  
TEL 0288-55-0055 FAX 0288-55-0064

- 開園日：3月20日～11月30日(冬期は休園しています)
- 開園時間：3月20日～10月31日は9:00～17:00

11月1日～30日は9:00～16:00

※終了時間の30分前までにご入場ください。

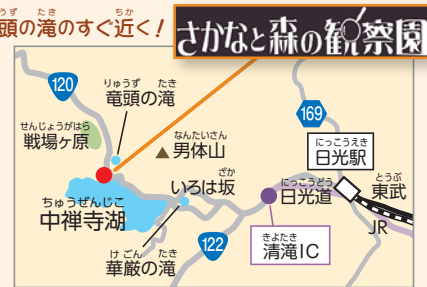
- 入場料(通常)：大人300円、小中学生100円

(小学生未満や障害者は無料。団体割引、シーズンパスポートあり)

↓ Facebook



★竜頭の滝のすぐ近く!



<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>



ふーちゃん



ふっくん

：あじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.80 (2017年11月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



シヤコ (撮影：知来 要)



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。